

Your Library

立教大学図書館だより No.38 | 2016.12.12 | ISSN 1883-1303

今ひらく貴重書庫の扉 ～紙上貴重資料見学会へようこそ～

読書ナビ

第53回

「ドイツ語圏文化の多様性への理解を深めるための(外国人による)10点」

文学部 教授 前田 良三



1. 『ハーメルンの笛吹男 伝説とその世界』 阿部 謹也著(ちくま文庫 1988年)
2. 『ドナウ ある川の伝記』 クラウディオ・マグリス著; 池内紀訳(NTT出版 2012年)
3. 『ライン河幻想紀行』 ヴィクトル・ユゴー著; 榎原晃三編訳(岩波文庫 1985年)
4. 『ユダヤ人の(ドイツ)―宗教と民族を超えて』 ジョージ・L・モッセ著; 三宅昭良訳(講談社 1996年)
5. 『フェルキッシュ革命 ドイツ民族主義から反ユダヤ主義へ』 ジョージ・L・モッセ著; 植村和秀 [ほか]訳(柏書房 1998年)
6. 『ドイツの大学―文化史的考察』 潮木守一 著(講談社学術文庫 1992年)
7. 『ワイマール文化』 ピーター・ゲイ著; 亀嶋庸一訳(みすず書房 1987年)
8. 『ベルリン』三部作 平井正著(せりか書房1980年、1981年、1982年)
9. 『永遠の亡命者たち―知識人の移住と思想の運命』 マーティン・ジェイ著; 今村仁司[ほか]訳(新曜社 1989年)
10. 『戦後ドイツ』 三島憲一著(岩波新書 1991年)

時事的ドイツ論の類は世に溢れていますが、物事の背景をより深く理解するためには、いわゆる「古典」的な本が欠かせません。そのような「古典」あるいは「定番」のなかから、外国人(日本人も含む)の手になるドイツ語圏文化論 10 点を、かなり主観的に選んでみました。ここを入口として関心のある分野への理解をさらに深めることができますし、時事的議論に対する見方もきっと変わってくると思います。

1 ドイツ中世後期の民衆文化といえは、まずこの作品でしょう。ドイツ中世民衆文化史という分野を日本の読書界に確立した西洋史学者の代表作のひとつです。2・3 ドイツ語圏を流れる二つの大河、ドナウ川とライン川をめぐる文化史。現代イタリアのドイツ文学者とフランス・ロマン主義を代表する文学者が書いた、それぞれ「読ませる」名著。4・5 ドイツ文化におけるユダヤ人の問題と反ユダヤ主義という光と闇の歴史を取り上げた、一人の著者による作品。とくに後者はこのテーマに関するもっ

とも包括的な記述のひとつで、本格的な研究書ですが、挑戦するに値する作品です。著者はドイツ・ユダヤ系アメリカ人歴史学者。6 ドイツを語る時に欠かせないのが、大学を中心とする学術文化です。この作品は大学の歴史的發展を描きつつ、そこに生まれた 19 世紀のドイツ若者文化の興味深い一面も明らかにしてくれます。同じ著者による姉妹編『アメリカの大学』の併読もおすすめです。7 はワイマール時代のドイツを論じた古典的作品で、著者はドイツ・ユダヤ系アメリカ人の著名な歴史学者。8 はベルリン都市文化論をひとつのジャンルとして確立した著者(本学名誉教授)の大作です。9 ナチズムの台頭により亡命を余儀なくされたドイツ・ユダヤ系知識人を論じたこの作品は、戦後ドイツの社会と文化を論じた10 と併読することにより、現代ドイツの言論文化の複雑な背景をより深く考える糸口を与えてくれます。

[Information]

貴重資料をオンライン上で閲覧できます! ～デジタル・ライブラリー～



立教大学が所蔵する貴重書コレクション等をデジタル資料として公開しています。「竹取物語絵巻」や「ルソー主要作品」、「樋口一葉『詠草』自筆稿本」など、普段は簡単に閲覧することのできない貴重な作品を見ることができます。教員による解説付きです! 貴重資料をちょっと覗いてみたい方も気軽にアクセスしてみてください!

スマートフォンからも
アクセス可能!



- ◆図書館ウェブサイトからは上記のバナーをクリックしてください。
- ◆URL <http://library.rikkyo.ac.jp/digitallibrary/>

Your Library 第38号(通号97) 発行日 2016年12月12日

編集 小林 憲太郎(図書館副館長) <http://library.rikkyo.ac.jp/>
 発行人 豊田 由貴夫(図書館長) 連絡先 TEL 03-3985-2628
 発行 立教大学図書館 印刷 立教プリンティングステーション



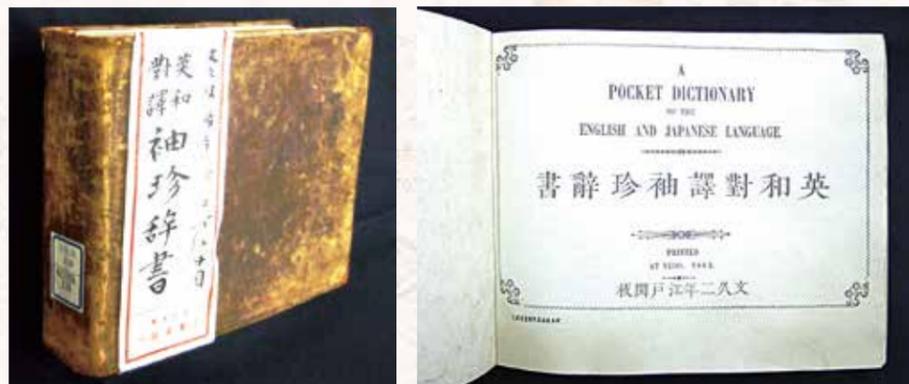
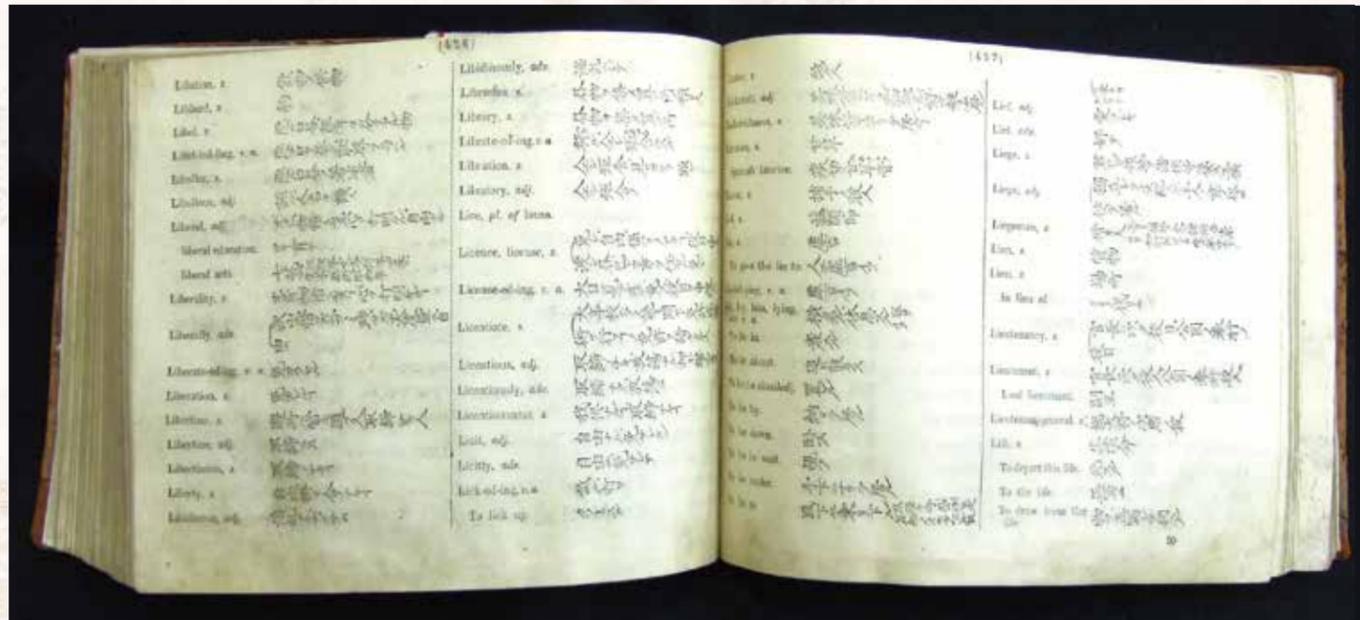
読書ナビ

前田 良三 教授

文学部

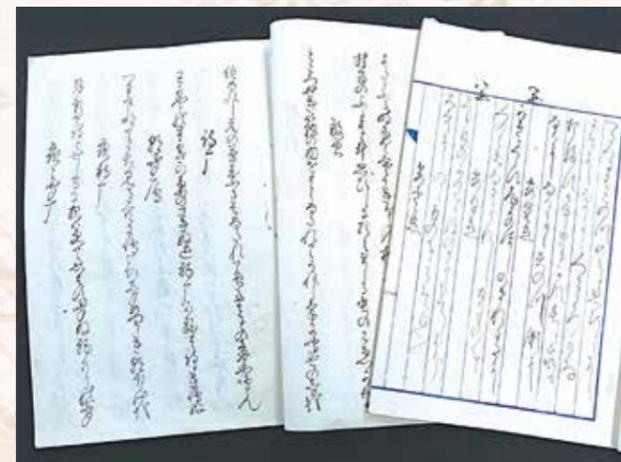
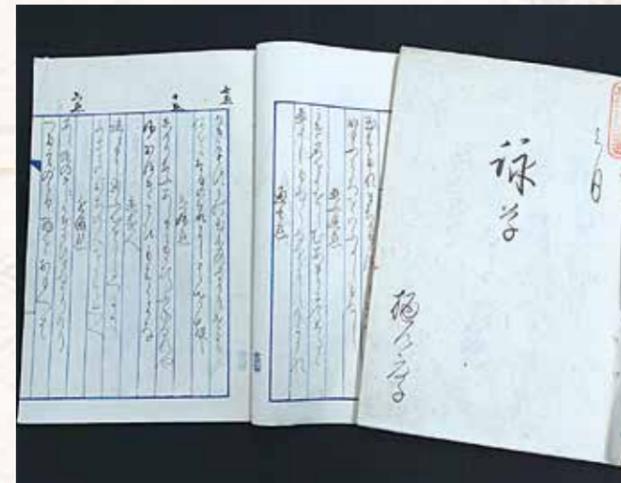
レアな資料をお見せします！

立教大学図書館では、いろいろな珍しい資料を所蔵しています。今回は過去に展示にて公開してきた資料の一部をご紹介します。
*詳しい解説については図書館WEBサイト「貴重書・文庫(展示作品)」「デジタル・ライブラリー」にも掲載しています。(裏表紙参照)



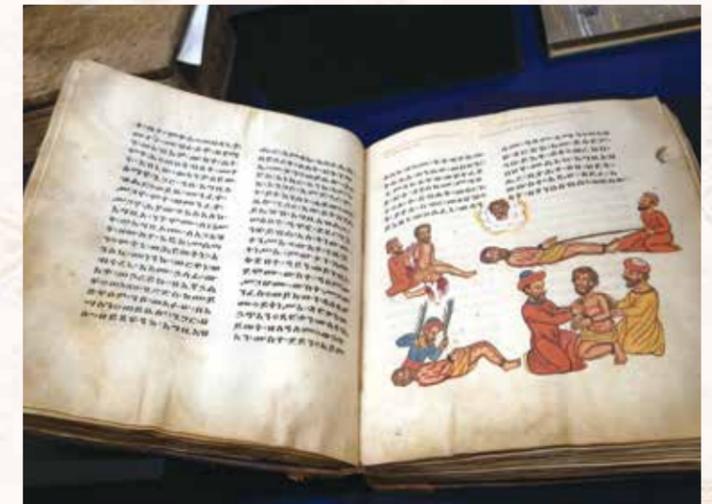
えいわたいやくしゅうちんじよ
「英和对訳袖珍辞書」堀達之助
A Pocket Dictionary of the English and Japanese Language
資料番号: 92-74711

日本初の英和辞書と言われており、国内でも所蔵する図書館は少ない稀少本である
この初版他にも慶応三年の改訂増補版と、戦前の立教で使用されていたと思われる慶応三年改定増補再版の計3冊が所蔵されている



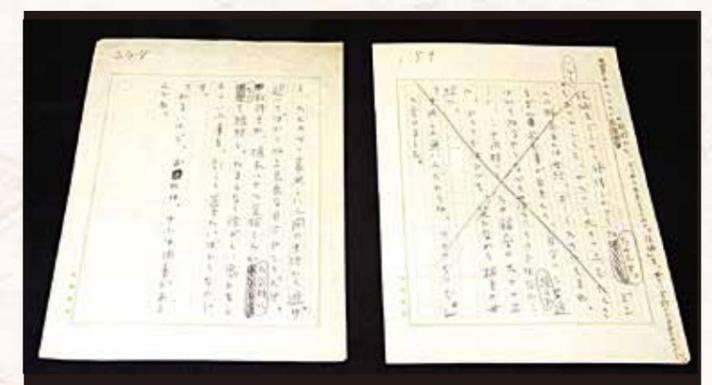
「詠草」樋口一葉(樋口奈津子、夏、夏子)自筆原稿
資料番号: 00197466, 00197467, 00210612, 00210613

「詠草」は12歳から晩年の24歳まで40巻以上書き続けられた和歌の練習帖で、そのうち4冊が立教に所蔵されている



「ゲエス語肉筆聖書物語」
Nägärä Maryam and others: Ethiopian illuminated manuscript
資料番号: 88-34347

羊皮紙(羊などの動物の皮から作られた、紙普及以前の書写材料)に彩色挿絵も描かれている



「人間失格」手書き草稿 太宰治
資料番号: 52176884

筑摩書房製の原稿用紙にペン書きされた草稿



たけとりのものがたりはりませびょうふ
「竹取物語貼交屏風」
資料番号: 52097199

江戸時代に制作された竹取物語絵を屏風仕立てにしたもの
※貼交屏風とは種々の書画を適宜に交えて貼った屏風のこと



「蟹工船」小林多喜二
初版本、改定版
資料番号: 87-81000, 87-81001

この初版本と改定版は発禁本となった



「東都築地ホテル館之図」
Plan of Hotel Yedo
資料番号: 52137574

「築地ホテル館」は1867年(慶応三年)7月に工事が開始され、立教大学校が移転する以前の築地居留地に、官軍の江戸入城後の1868年8月に完成した

「貴重書見学ツアー」では、実際に見ることができました！

さる2016年11月19日(土)14時から16時、今年で6回目となる『貴重書見学ツアー』が開催され、14名の方が参加しました。
参加者の皆さんは、江戸川乱歩が収集した西鶴本や庄司浅水コレクションなどの貴重な資料を手に取りながら、講師の丹羽みさと先生の解説に熱心に耳を傾けていました。また今回は、事前に参加者の皆さんから年代や形状、著者などのリクエストを募り、お披露目した資料もあり、大変好評を得ました。講師と参加者との間で非常に活発な交流が生まれ、終了アナウンスを聞いた参加者の皆さんの名残惜しそうな姿が印象的でした。

